

(様式例)

## 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨特別支援学校

学校番号	119
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる） （思いを伝える 自分も仲間も大切にしたい自分を目指す） ・生活自立（基本的な生活習慣の確立・基礎体力の向上・基礎学力の定着） ・社会自立（情緒のコントロール・コミュニケーションスキルの獲得・規範意識や危険回避能力の育成） ・職業自立（自己理解と行動の調整・働くことの意義や役割の理解・職業に対する理解や実際的な知識・技能・態度の習得）
--------	--

評価する領域・分野	「防災教育」（防災研修・防災訓練・防災教育）
現状及びアンケートの結果分析等	・「学校は安心安全な場所である」という項目においては、90%以上の肯定的な評価が得られた。また、「防災について専門家と連携して訓練や研修を行っている」や「防災教育や訓練を通して児童生徒が自分で身を守る力を育てている」の項目についても90%以上の肯定的な評価となった。 ・小中高すべての学部において、授業の中で経験的に防災を学ぶ時間を設けて取り組んだことが、保護者の理解を高めることにつながったと考えられる。 ・PTAを対象にした防災研修を行ったことで、保護者の防災に対する意識を高めることにつながった。
今年度の具体的なかつ明確な重点目標	・専門家や地域と連携した避難場所の見直し。 ・小中高すべての学部において、段階に応じ経験を通じた防災教育の実施 ・保護者に情報提供をし、防災に対する意識の向上を図る。
重点目標を達成するための校内組織体制	専門家や地域と連携した避難場所の見直し ・管理職、保健安全部、生活支援部 小中高すべての学部において、段階に応じ経験を通じた防災教育の実施 ・教務部、保健安全部、各担任 保護者に情報提供をし、防災に対する意識の向上を図る。 ・保健安全部、渉外部、研究研修部
目標の達成に必要な具体的な取組	・防災士や大学教授と連携を図り、避難や校内の危険箇所についての助言を受け校内周知、対応 ・近隣施設と連携を図り、新たな災害時の待機場所を確保し、そこを利用した訓練の実施。 ・児童生徒の実態に応じ、災害に関する理解や災害時に使用する道具の使用、身を守る方法等を体験的な学習 ・専門家を招いて保護者を対象に研修会を実施し、防災についての情報提供を行う。 ・自宅付近のハザードマップを配付し家庭と共通理解を図るとともに、各家庭の状況を把握
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・専門家の意見 ・保護者参加の引き渡し訓練や各家庭の状況把握後の意見 ・訓練や授業時における児童生徒の発言や行動 ・学校運営協議会委員や地域等の外部の意見。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートの実施</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣施設に学校の状況を説明し、災害時の待機場所として施設の提供に対し承諾を得た。また、その施設を実際に児童生徒が利用し、なおかつ保護者への引き渡し訓練を行った。</li> <li>・授業や訓練の取組から、慌てずに行動できる児童生徒が増えた。</li> <li>・災害時に必要なものを知ったりとるべき行動について考えたりする中で、防災について自分のことととらえる児童生徒もいた。</li> <li>・専門家の視点から校内の危険個所を把握し、危険性を回避するための対応を考えることができた。</li> <li>・PTA研修会に参加する保護者が昨年よりも増え、避難所について講師に訪ねたり紹介されていた備蓄品を手にとって家庭で必要なものを相談したりと意欲的に参加していた。</li> <li>・各家庭に地域のハザードマップを配付した。家庭によっては家族で自宅の状況を確認し、災害時の行動について話し合いができた。その情報を学校も共有し、非常時に各家庭の状況が把握できるようにすることができた。</li> </ul>
評価の視点	評価
① 専門家や地域との連携を図り、問題点の改善を図ることができたか	Ⓐ B C D
② 教育活動を通して児童生徒が、防災教育を通して意識や理解を深めることができたか。	A Ⓑ C D
③ 災害時の対応方法などの知識や情報について、保護者のニーズに応じて提供することができたか。	Ⓐ B C D
<b>A 十分達成した、B おおむね達成した、C やや不十分、D 不十分</b>	
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○命を守る訓練に置いて、慌てずに自分の身を守る行動がとれる児童生徒が増えてきた。</li> <li>○地域の理解を得て、災害時の学校の体制を整えることができた。</li> <li>○昨年に比べてPTA研修に参加する保護者が増え、家庭の防災に対する意識を高めることができた。</li> <li>○専門家との連携を図り、専門的な視点で校内の危険個所を把握することができ、安全な学校づくりを進めることができた。</li> <li>○防災に対する教員の意識を高め、授業の内容や訓練での姿勢に活かすことができた。</li> <li>▲地域における児童生徒の避難については、消極的な家庭が多く、地域とのつながりづくりを進める必要がある。</li> </ul>	Ⓐ B C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も児童生徒への教育や保護者への情報発信を続けていく。</li> <li>・児童生徒が地域とつながるような方法を探る。</li> </ul>

学校関係者評価 (令和 5年 10月 17日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災については、非常によく取り組んでいることがわかる。</li> <li>・児童生徒が自分で行動できるような授業を行っていてよい。</li> <li>・日常の挨拶から、地域の助け合いが生まれる。</li> <li>・このまま、取組を継続してもらいたい。</li> </ul>
-----------	---